

■はじめに

・今年度は春の訪れが早く、今夏も例年以上の猛暑が予想されています。近年の気象変動は、高温障害や病害虫の発生など作物への影響が大きくなっています。病害虫の防除などの作物管理においてもGAPの観点からの取組みが重要です。

■トピックス 総合的病害虫・雑草管理(IPM)の取組みについて

・病害虫・雑草防除では、環境に配慮し化学農薬だけに頼らず、あらかじめ病害虫の発生しにくい環境を整えることや、適期に適切な対策を総合的に行う IPM の取組みが必要となっています。

IPMとは“Integrated Pest Management”の頭文字をとったもので、「総合防除」、「総合的有害生物管理」と訳されます。IPMは、「予防的措置」、「観察による介入の判断」、「介入作業」を適切に組み合わせ実践することが基本です。

ぎふ清流GAP評価制度では、管理点「作 3.1.2」で IPM の取組みを実践していることが要求されています。また管理点「作 3.1.1」では、IPM の取組みを反映した作物保護管理計画の作成が必要です。

■IPMに取り組みましょう

1. IPMの実践(管理点:作 3.1.2)



・IPM の「予防的措置」、「観察による介入の判断」、「介入作業」は、具体的にどのような取組みですか？

IPMでは、次のような事に取り組むことが重要です。

- ・「予防的措置」:防虫ネットの設置、耐性品種の使用、輪作体系の導入、等
- ・「観察による介入の判断」:ほ場観察、発生予察情報や普及指導員のアドバイスの活用、等
- ・「介入作業」:適切な農薬の使用、罹病株や発病部位の除去、ほ場周辺の除草、等



2. 作物保護管理計画の策定(管理点:作 3.1.1)



・作物保護管理計画は、どのようにして作るのですか？

- ・JA営農指導員・県普及指導員が監修した防除暦などを基本に作成します。
- ・各々のほ場の状況や栽培方法に合わせた計画の作成をお勧めします。





・作物保護管理計画にはどのような内容を書けばよいでしょうか？

- ・対象作物名と、防除対象病害虫・雑草名を記載します(いちご・炭疽病、なし・ハダニ類、米・ノビエ等)
- ・IPMの取組み(管理点:作 3.1.2)の「予防的措置」、「観察による介入の判断」、「介入作業」の具体的な取組みの内容を記載します。
- ・農薬については具体的な資材名や使用量、使用時期を明記します。



■現地研修会を開催します

・国際水準GAPガイドライン遵守をめざしたGAP取組の推進を目的に、現地研修会を開催します。是非参加ください。問い合わせは各農林事務所農業普及課までお願いします。

○開催時期及び会場

農林事務所	開催期日・時間	会場
飛騨	5月22日(木) 13:30~15:30	合同会社つむぎ果樹園 高山市 もも
可茂	6月23日(月) 10:00~12:00	有限会社春見ライス 美濃加茂市 水稻
下呂	6月26日(木) 10:00~12:00	合資会社源丸屋ファーム 下呂市 水稻

■きのこ生産施設等の整備を支援します。「県産材生産体制強化施設整備事業」

・県林政部では、県産きのこ類の生産性、品質の向上を図るため、きのこ生産におけるGAP認証(ぎふ清流GAP含む)の取得及び当該認証取得品目の生産拡大に必要な施設等の整備を支援しています。詳細は各農林事務所林業課へお問い合わせください。

補助対象者	県内のきのこ生産者
事業内容	きのこの生産施設の整備・改修及び機械・備品の購入に要する経費の一部を助成
補助要件等	ア 既にGAP認証又は有機JAS認証を取得していること。 イ 施設導入後3年以内にGAP認証又は有機JAS認証を取得することを書面で確約する者。
事業費上限額・補助率	・事業費上限額 3,000千円 ・補助率 補助対象経費の2分の1以内

■「ぎふ清流GAP評価制度」に関する情報

Webサイト 検索 [ぎふ清流GAP \(岐阜県公式ホームページ\)](#)
制度の概要(要領・要綱の閲覧)、申請様式等のダウンロード、認証農場の紹介



■「ぎふ清流GAP通信」に関するお問い合わせ

(一社)岐阜県農畜産公社 ぎふ清流GAP推進センター

電話:058-216-1566 FAX:058-216-1567 Eメール: gifu-gap@gifu-notiku.com